

	申請者氏名	山中 隆義
論文名	NMR studies on heavy fermion and conventional metal superlattices CeCoIn ₅ /YbCoIn ₅	
国際会議名	International Conference on Strongly Correlated Electron Systems	
開催地	Hangzhou, China	
参加期日	2016年5月9日～13日	
参加目的：		
<p>我々は重い電子系化合物 CeCoIn₅ と通常金属 YbCoIn₅ からなる人工超格子に対して微視的な測定手段である核磁気共鳴法（NMR）を用いた実験を行い、界面の磁気的な情報を引き出すことに成功した。本会議において我々の研究成果を発表することが目的である。</p>		
会議の状況：		
<p>34 か国から 500 人を超える参加者が集まり、比較的大きな規模であった。会議は 5 日間にわたって開催され、8:30～17:30 程度まで密にセッションが詰められたスケジュールで、各所にて活発な議論が交わされた。強相関電子系の様々な研究成果・進展に関する情報が持ち寄せられた会議であった。</p>		
成果概要：		
<p>Ru 酸化物、鉄系超伝導、Ce 系・U 系化合物など強相関電子系における近年のホットトピックスに関する発表も非常に多く、口頭発表、ポスター発表各所にて様々な知見を得られた。特に会議初日のポスター発表と 2 日目午前の口頭発表には申請者のメインテーマと関係の深い Ce-115 系の発表が数多くあり、核国の研究者たちと議論を交わすことで、最新の情報を得られるとともに知識をまとめなおすよい機会となった。</p> <p>申請者は口頭発表を行い、重い電子系化合物と通常金属からなる人工超格子に対して NMR を用いることで、重い電子の界面における磁気的な情報を引き出せることを発表し、今後の界面物性の研究に対する NMR の有用性を伝えることができた。</p> <p>今回、このような有意義な会議への出席の機会を与えていただき、湯川記念財団 望月基金の関係者様方にこの場を借りてお礼申し上げます。</p>		